

感性デザイン論

必修

開講年次：2年次前期

科目区分：講義

単位：2単位

講義時間：30時間

■**科目のねらい**：デザインの評価は論理的側面ばかりでなく感性的側面によるところに特徴がある。北海道という北方地域に住む人々の感性が、感性評価、情報処理、情報検索などの認識過程で、どのような特徴を有するのかを探る。そのため、方法的な視点も加えながら、北方地域に住む人々の感性の動きをデザインにどのように組み込んでいけばよいかについて解説し、感性工学の側面からデザイン提案の企画を行う。

■**到達目標**：①感性デザインの方法論を理解する。
②ケーススタディを通して、感性に基づいたデザイン提案を企画する。

■**担当教員**：

張 浦華

■**授業計画・内容**：

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 感性デザインとは
- 第3回 感性行動とデザイン
- 第4回 感性評価とデザイン
- 第4回 イメージからの形の発想
- 第5回 感性に基づいたデザインの提案企画
- 第6回 コンセプトの構築
- 第7回 アイディアの抽出
- 第8回 アイディアの具体化
- 第9回 構造と仕組みの検討
- 第10回 スケッチ表現
- 第11回 提案書作成
- 第12回 最終プレゼンテーション1
- 第13回 最終プレゼンテーション2
- 第14回 最終プレゼンテーション3
- 第15回 まとめ

■**教科書**：必要に応じて紹介する

■**参考文献**：講義の中で必要に応じて、紹介する。

■**成績評価基準と方法**：授業態度と出欠、及び課題レポートにより総合評価する。

評価方法	到達目標		評価基準	評価割合(%)
	到達目標①	到達目標②		
小テスト・授業内レポート	◎		感性デザインの方法論を理解していること	20
授業態度	○		積極的な姿勢	20
発表		◎	分かりやすいこと	20
課題・作品		◎	①創造性があるかどうか ②感性情報を組み込んでいるか	30
出席	○		2/3以上出席	10

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：感性科学

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：モノの機能性からの発想でなく、感性的発想のデザイン手法を学ぶ。欠席時数が全体の1/3を超えた場合や課題未提出の場合には単位が取得できない場合があります。